

千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

HP : <https://chiba-syokutairen.org/>

第19回働くもののいのちと健康を守る

関東甲信越学習交流集会に参加しよう

この集会には、労働団体・医療従事者・弁護士の専門家、職場で被災した本人や家族(遺族)、解雇などの不当労働行為に対して企業と闘う人たちが集

い、理論の組み立てと貴重な体験談を学ぶ事ができます。参加ご希望の方は、別紙の「参加申込書」で11月8日(金)迄にTEL・FAX・メールしてください。

日時 : 2019年11月17日(日) 13:30~11月18日(月)12:00

会場 : 石和温泉 石和ビューホテル
山梨県笛吹市石和町川中島 1607

参加費 : 参加費 3,000 円、夕食交流付 11,000 円、宿泊1泊2食付 17,000 円



「教訓を学ばない歴史家と教育」

2019年の今年には日本が「歴史認識問題」に全面的に直面した年だと思えます。この歴史認識問題にもし的確に対処できなければ、日本政府は山積する問題を解決できるどころか一層混乱を大きくし、国家の品位を貶めたすえ、最後は国際的信用を失い世界から孤立していくことを予感させます。

例えば、一向に話が進展しない北朝鮮との「拉致問題」、ますますこじれる韓国との「徴用工問題、慰安婦問題」、過去の話し合いから後退した感のあるロシアとの「領土問題」などの国際問題、それに関連して国内では文化庁・文部科学省が「一部世論」を背景にして押し付けた「表現の不自由展・その後の中止問題」などが挙げられます。

これらの問題は日本の政治家や高級官僚(高級事務員)などの「歴史認識」がまったく不十分であることを証明していると思えます。ここに共通する問題は何かといえばそれは「歴史認識問題」であり、さらにその根底にあるのは「民主主義の基盤」である「真実」を歪めることにあると思えます。

「真実は民主主義の基盤」ですが、日本の現状は民主主義を危機的状況に陥れています。真実という民主的議論の基盤が互いに共有されなくては、かみ合った議論が不可能です。「日本がおこなった戦争は『聖戦』である。『侵略戦争』ではない」という「歴史認識」は戦後、真実を否定して来た右派勢力が政権をずっととってきたところに根本的原因があります。

日本という国の言葉は正確に用いる必要があります。これは「現日本」の歴史事実に関するものではなく、戦前まで日本が「大日本帝国」と呼んでいた「旧日本」の「歴史的事実に対する認識問題」といえます。

「旧日本」の「大日本帝国の歴史には他国からとやかく言われる問題はひとつもない」という主張は「日清・日露の戦争から大東亜戦争まで続いた日本の戦争はすべて『聖戦』であった」となります。それは「大日本帝国の自存自衛のため戦争だった」という主張です。

「現日本」の国民が「旧日本」が主張した「自存自衛の戦争」論を否定し、「侵略戦争」だったという「真実」をのべると、それは「反日的」とか (裏面へ続く)

「自虐史観」だとか逆切れして強弁するのは間違いです。「大日本帝国」時代の誤りを指摘するのは、誠実な人間ならば誰もがおこなう当たり前の反省です。

「旧日本」の誤りを指摘するのが取っていえば「旧日本に対する反日」といえますが「現日本を否定する反日」とはいえないのは明らかです。

しかし戦後の日本の支配者は、岸信介首相からはじまりその孫にいたる現首相などは一貫してその流れにあります。そして現在は右翼知識人を動員して世論を混乱させる「嫌韓本」「嫌中本」を毎月発行しています。そこには首相をはじめとして閣僚や幹部が登場し「嫌韓」「嫌中」を煽っています。それが首相のコア支持者まで広がっているからその影響はすくなくありません。

「明治維新」政府により樹立された「大日本帝国」は、事実を直視すれば「明治維新」後、わずか77年という短期間に滅び去ったのですがそれはなぜでしょうか。人口一億に近い大国が百年も経過しない内に滅んだ例はあまり知りません。「ロシア革命」を遂行した「ソ連」も80年しない内に滅び去りました。

明治維新により生まれた近代日本を「大日本帝国」と呼んだ「旧日本」が、どうして短期間に滅んだのか、滅亡した原因究明とその反省とが厳しく求められていると思います。

明治維新77年後の昭和20年8月に滅んだ「大日本帝国」ですが、一体どうして滅んだのかといえば、その理由は単純ではありませんが、歴史から余計な不純物を一切とり除き、本筋をありのままに直視すれば見

えてくるものがあります。それは「旧日本」が誕生した「明治維新」時から日本は真実を一貫して隠し続けてきたことと指摘できます。

真実を隠した背景については一例ですが、「浦上四番崩れ」ですすでに紹介しました。これは明治政府の正当性に疑念を生じさせる背景になっています。明治新政府による「潜伏キリシタンへの血の弾圧」と紹介しましたが、明治維新までの10年間、明治維新後の20年間を丁寧に調べていくと、そのおぞましい出来事が次ぎ次ぎと起こっていることが見えてきます。現実の歴史のこの「大きな背景」が幾つも起こり重なるという実に「おぞましい歴史」を隠さなければならなかったのです。

「世界の道はローマに通じる」という言葉があります。「パックス・ロマーナ」と讃えられた「永遠の都・ローマ」。そのローマにあこがれた人たちが「平和なローマ」につながる道を辿ることを期待したのでしょうか。時代は下り、アジアでの日本の徳川時代、およそ徳川期は250年間の平和が続きました。多くの文化や芸術、そのもとになる学問や教育の充実があったのです。世界の歴史家はこれを「パックス・トクガワナ」と呼んでいます。この「パックス・トクガワナ」を根底から破壊し、その影響力を消して明治新政府を樹立した「暴力革命」こそが、日本の「近代化の始まり」と称されたのですが、その栄光とは別に、明治維新が現代に続く歴史認識問題の発端となったのですから、歴史は複雑怪奇といえます。

以下、続きの説明をすすめる予定です。(北辰)

当面の取組日程

千葉職対連事務局

10・16(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
26(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
11・12(火)	過労死等防止対策推進シボ	14:00~	千葉市生涯学習センター
13(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
17(日)	関東甲信越学習交流集会	13:30~	山梨石和温泉
18(月)	〃	~12:00	石和ビューホテル
20(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
23(土)	千葉県権利討論集会	13:00~	千葉土建本部会館
23(土)	中丸素明弁護士を偲ぶ会	16:30~	千葉土建本部会館
30(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
12・1(日)	いの健千葉理事会	10:00~	船橋市勤労市民センター
14(土)	千葉職対連常任幹事会	10:00~	船橋市勤労市民センター
14(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
14(土)	千葉職対連忘年会	17:00~	道祖会館(予定)